

(4) 生産環境

1) 農業の現状及び動向

〔農家数及び農業就業人口〕

農家数は、平成22年には2,975戸で、新柏崎市域の総戸数34,112戸(平成22年1月末現在)に対して8.7%を占めています。平成17年に比べ944戸(24.1%)減少しました。

農業就業人口も同様に減少傾向にあり、平成17年に比べ1,340人(33.9%)減少し、平成22年には2,611人となっています。

表2-17 農家数及び農業就業人口の推移

(単位：戸・人・%)

	区分	総農家数	自給的農家数	販売農家数				農家人口	農業就業人口
				計	専業農家数	兼業農家数			
						第1種	第2種		
平成7年	(旧)柏崎市	4,142	853	3,289	294	276	2,719	17,541	4,861
	(旧)高柳町	588	196	392	69	59	264	1,900	684
	(旧)西山町	897	255	642	68	58	516	3,639	1,099
	柏崎市計	5,627 (100.0)	1,304 (23.2)	4,323 (76.8)	431 (7.7)	393 (7.0)	3,499 (62.2)	23,080	6,644
12	(旧)柏崎市	3,499	774	2,725	360	151	2,214	14,483	3,821
	(旧)高柳町	516	203	313	95	42	176	1,560	425
	(旧)西山町	714	207	507	77	22	408	2,870	688
	柏崎市計	4,729 (100.0)	1,184 (25.0)	3,545 (75.0)	532 (11.2)	215 (4.5)	2,798 (59.2)	18,913	4,934
17	(旧)柏崎市	2,889	773	2,116	372	161	1,583	11,058	3,076
	(旧)高柳町	422	182	240	94	20	126	1,196	338
	(旧)西山町	608	230	378	58	9	311	2,294	537
	柏崎市計	3,919 (100.0)	1,185 (30.2)	2,734 (69.8)	524 (13.4)	190 (4.8)	2,020 (51.5)	14,548	3,951
22	(旧)柏崎市	2,188	692	1,496	337	127	1,032	-	2,011
	(旧)高柳町	337	148	189	68	27	94	-	254
	(旧)西山町	450	183	267	57	21	189	-	346
	柏崎市計	2,975 (100.0)	1,023 (34.4)	1,952 (65.6)	462 (15.5)	175 (5.9)	1,315 (44.2)	-	2,611

資料：企画政策課(農林業センサス)

「自給的農家」とは、「経営耕地面積30a未満かつ農産物販売金額50万円未満の農家」をいう
兼業農家のうち農家所得を主とするものを「第1種兼業農家」といい、従とするものを「第2種兼業農家」という
農家人口については総農家(平成22年調査以降は集計なし)、農業就業人口については平成7年まで総農家、平成12年から販売農家(経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家)の数値
()内は構成比

出典：平成23年度 市勢概要

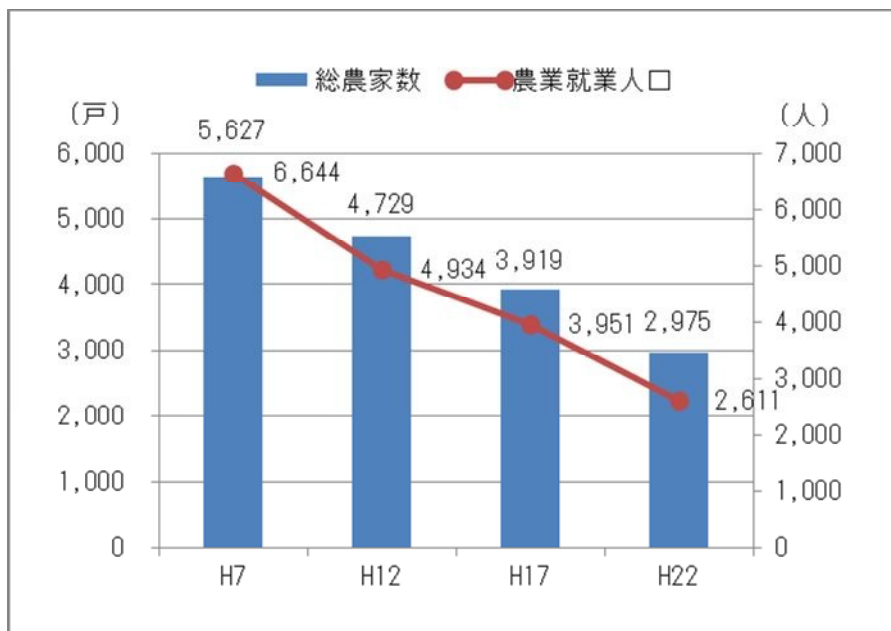


図 2-12 総農家数及び農業就業人口の推移

〔農業形態〕

販売農家数が年々減少する中、第2種兼業農家の減少は著しく、平成17年に比べ、705戸(34.9%)減少しました。また、専業農家は62戸(11.8%)減少し、第1種兼業農家は15戸(7.9%)減少しました。

依然として、第2種兼業農家を中心に高齢化や後継者不足により零細農家の離農傾向が続いています。また、借地や作業委託等による農家1戸当たりの経営耕地の拡大によって大規模農家が増加したことから、平成17年までは専業農家数はほぼ横ばいの状況でありましたが、平成22年にかけて減少に転じました。

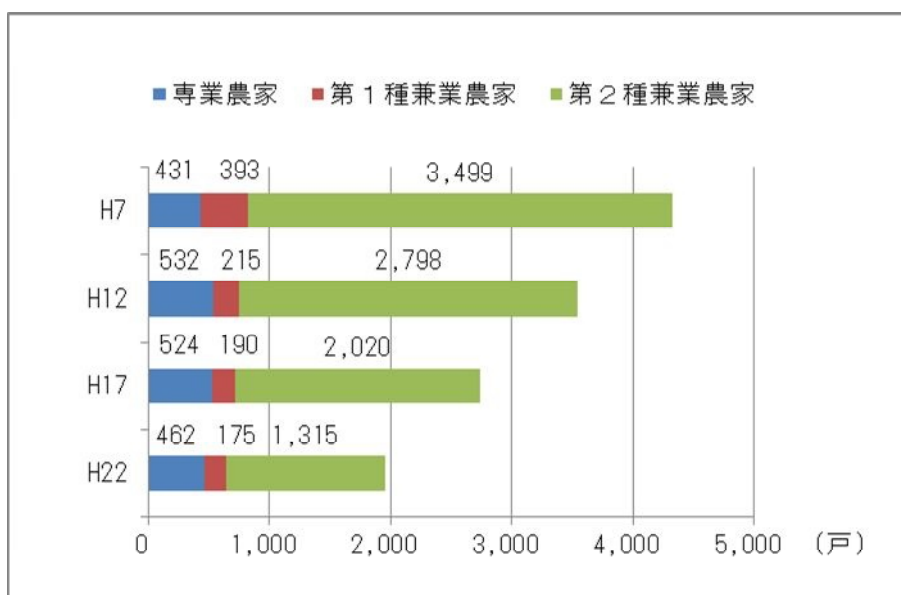


図 2-13 専兼業別農家数(販売農家)の推移

〔年齢別農業就業人口及び基幹的農業従事者〕

平成22年の農業就業人口は2,611人であり、その内訳は男子1,341人(51.4%)、女子1,270人(48.6%)となっています。女子の就業人口が多かった平成17年に対し、男女の割合がほぼ同率となりました。(平成17年は、男子1,806人(45.7%)、女子2,145人(54.3%))

年齢別にみると、農業就業人口の75.2%が65歳以上となっており、高齢化が進み、後継者不足が懸念されています。

また、平成22年の基幹的農業従事者数は1,812人であり、こちらも同様に79.7%が65歳以上となっています。

表2-18 平成22年 年齢別農業就業人口及び基幹的農業従事者数(販売農家)

(単位：人・%)

区分	計	年齢別							
		15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	
農業就業人口	男子	1,341	52	14	23	38	146	550	518
	女子	1,270	26	9	18	47	274	517	379
	計	2,611 (100.0)	78 (3.0)	23 (0.9)	41 (1.6)	85 (3.2)	420 (16.1)	1,067 (40.9)	897 (34.3)
基幹的農業従事者	男子	1,185	-	10	20	34	139	529	453
	女子	627	-	2	8	18	136	288	175
	計	1,812 (100.0)	- (0.0)	12 (0.7)	28 (1.5)	52 (2.9)	275 (15.2)	817 (45.1)	628 (34.6)

出典：2010年 世界農林業センサス

農業就業人口、基幹的農業従事者数は、販売農家(経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家)の数値

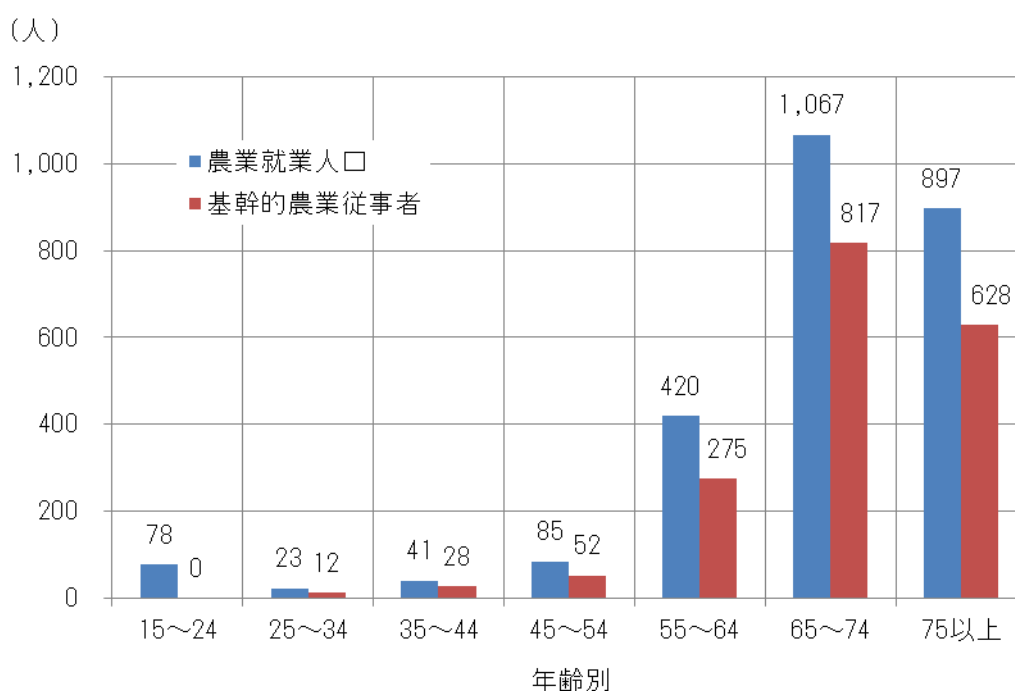


図2-14 年齢別農業就業人口及び基幹的農業従事者数(販売農家)の推移

〔経営耕地面積〕

経営耕地面積は3,242.55haとなり、新柏崎市域の総面積44,270haに対して7.3%を占めています。また、総農家戸数2,975戸のうち経営耕地面積が0.5ha未満の農家は1,441戸と全体の48.4%を占めています。農家1戸当たりの経営耕地面積は1.09haと零細ではありますが、1戸当たりの面積はわずかながら増加傾向にあります。農地の流動からみると、零細兼業農家は離農に踏み切り減少傾向にあります。経営耕地面積が2.0ha以上の自立経営志向農家数は、横ばい傾向にあります。

表2-19 経営耕地面積の推移

(単位：ha)

区分	経営耕地面積			耕地種類別			
	総面積	自給的農家	販売農家	田	畑	樹園地	
平成7年	(旧)柏崎市	3,650.80	-	-	3,475.70	160.60	14.50
	(旧)高柳町	356.70	-	-	321.90	29.60	5.20
	(旧)西山町	567.80	-	-	540.50	24.90	2.40
	柏崎市計	4,575.30	-	-	4,338.10	215.10	22.10
12	(旧)柏崎市	3,328.00	-	-	3,189.60	126.70	11.70
	(旧)高柳町	295.50	-	-	267.50	24.10	3.90
	(旧)西山町	504.30	-	-	482.80	19.70	1.80
	柏崎市計	4,127.80	-	-	3,939.90	170.50	17.40
17	(旧)柏崎市	3,021.52	137.73	2,883.79	2,797.39	77.93	8.47
	(旧)高柳町	262.49	34.10	228.39	210.23	16.24	1.92
	(旧)西山町	422.29	43.48	378.81	366.47	11.58	0.76
	柏崎市計	3,706.30	215.31	3,490.99	3,374.09	105.75	11.15
22	(旧)柏崎市	2,628.60	124.81	2,503.79	2,431.45	66.21	6.13
	(旧)高柳町	231.18	27.20	203.98	190.06	13.08	0.84
	(旧)西山町	382.77	33.79	348.98	334.25	13.94	0.79
	柏崎市計	3,242.55	185.80	3,056.75	2,955.76	93.23	7.76

資料：企画政策課(農林業センサス)

平成17、22年は耕地種類別経営耕地面積については販売農家

(経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家)のみの数値

出典：平成23年度市勢概要

表2-20 経営耕地規模別農家戸数の推移

(単位：戸)

区分	0.5ha未満	0.5ha以上 1.0ha未満	1.0ha以上 2.0ha未満	2.0ha以上	計	平均耕作面積	
						(ha)	県(ha)
平成7年	(旧)柏崎市	1,526	1,467	915	234	4,142	0.88
	(旧)高柳町	326	190	50	22	588	0.61
	(旧)西山町	474	280	122	21	897	0.63
	柏崎市計	2,326	1,937	1,087	277	5,627	0.81
12	(旧)柏崎市	1,358	1,164	708	269	3,499	0.95
	(旧)高柳町	309	147	40	20	516	0.57
	(旧)西山町	371	213	100	30	714	0.71
	柏崎市計	2,038	1,524	848	319	4,729	0.87
17	(旧)柏崎市	1,195	892	535	267	2,889	1.05
	(旧)高柳町	257	114	29	22	422	0.62
	(旧)西山町	357	152	66	33	608	0.69
	柏崎市計	1,809	1,158	630	322	3,919	0.95
22	(旧)柏崎市	973	582	369	264	2,188	1.20
	(旧)高柳町	208	78	28	23	337	0.69
	(旧)西山町	260	111	46	33	450	0.85
	柏崎市計	1,441	771	443	320	2,975	1.09

資料：企画政策課(農林業センサス)

出典：平成23年度市勢概要

経営耕地面積の推移を図 2-15 に、経営耕地規模別農家数(販売農家)の推移を図 2-16 に示しました。10 年間で 20%以上減少しています。

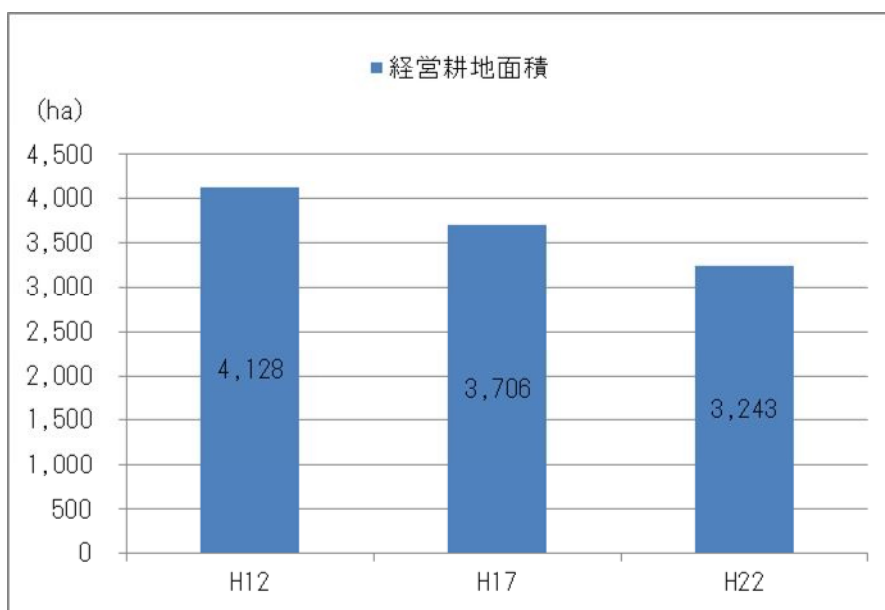


図 2-15 経営耕地面積の推移

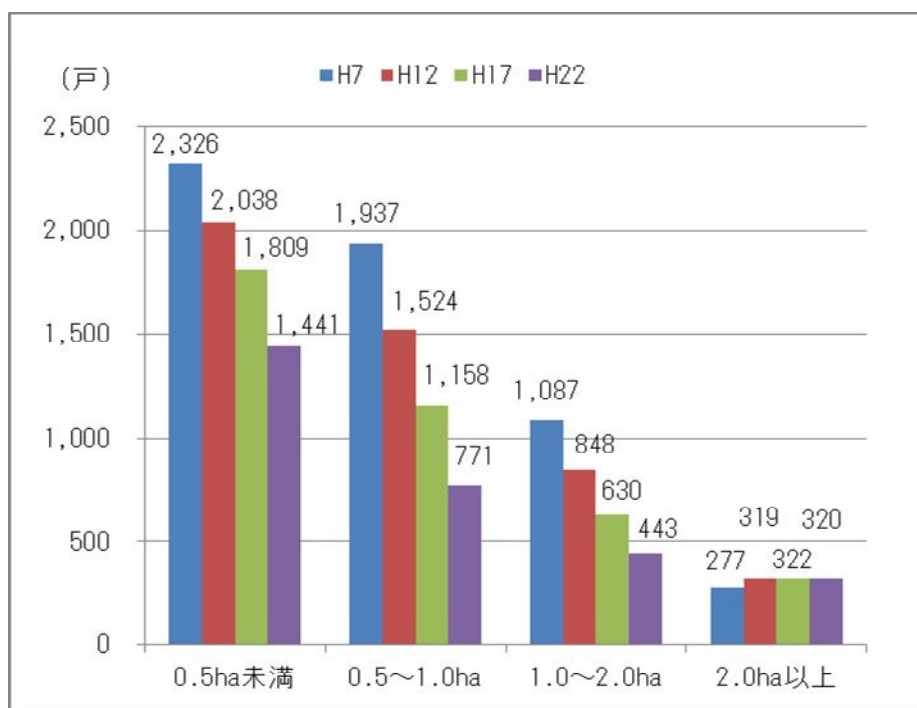


図 2-16 経営耕地規模別農家数(販売農家)の推移

〔不作付農地〕

経営耕地面積は年々減少している状況にあります。また、特に中山間地域においては、耕作不利の条件であることから農業生産性が低く、過疎化・高齢化も進行していることから、不作付農地の増加が懸念されています。

〔農業生産〕

本市の農業産出額は約68億円で、その中で7割以上(49億円)を米が占めており、米の生産額の割合が高くなっています。このような基幹作物である米については、コシヒカリはもとより、県下に先駆けて生産拡大に取り組んだこしいぶきや、早生品種の「越路早生」など、それぞれの地域特徴を生かした米づくりに取り組んでいます。また、米を主軸に、これに畜産・野菜・果実・観光農業等が複合経営の形で営まれています。米以外の地場産農産物としては、表2-22に挙げられているものがあります。

表2-21 農業産出額

(単位：千万円)

区分		農業算出額		
第1次生産物	耕種	米	490	
		麦類	-	
		雑穀	0	
		豆類	3	
		いも類	7	
		野菜	55	
		果実	4	
		花き	0	
		工芸農作物	-	
		種苗・苗木類・その他	2	
		耕種計	561	
		畜産	肉用牛	X
			乳用牛	26
	うち生乳		22	
	豚		-	
	鶏		92	
	うち鶏卵		51	
	うちブロイラー		X	
	その他畜産物		X	
	畜産計	120		
第2次加工農産物		3		
合計		684		

出典：平成18年 生産農業所得統計

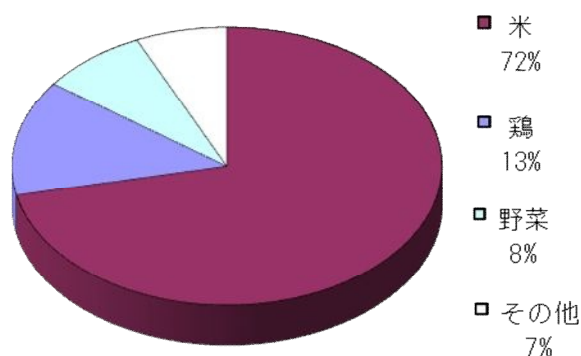


図2-17 農業算出額の内訳

表 2-22 柏崎市の地場産リスト

品目名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			セールポイント
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
ぎんなん																																				雪国小国の特産です。エキスを抽出した果実酒もあります。長岡地域にも再掲	
もも																																				砂丘地で作った本物の甘さ、美味しい桃です。	
柿																																				甘くてビタミン豊富、とろりととろけるメルティング質が特徴です。(西山町地区等)	
カリフラワー																																				ガッチリ締まった良質な花蕾です。	
やつがしら																																				種芋での出荷が中心、育ててズイキにどうぞ。	
さといも																																				田圃でつくった粘りのある美味しいサトイモです。	
ぜんまい																																				高柳町地区の雪深い里から芽生え、ぜんまい独特の歯切れと風味があり、ゆでててもみ、もんで干しを繰り返し干しぜんまいで出荷します。	
いちご																																				新潟品種「越後姫」本物の旬の時期に美味しいいちごを提供しています。	
みょうが																																				夏の味覚、生で、薬味に、漬け物にと、様々な食べ方で食されています。(高柳町地区)	
マダイ																																				(マダイ共通)エビを食べ体が美しい桜色にそまる月が旬と言われています。味はくせのない白身で、刺身、塩焼き、煮物、あら炊き、蒲汁と無駄なく食べられる魚です。天然物は体が美しい紅色で、目の上の部分が鮮やかな青紫色に染まっています。 主に吾智網で漁獲され、粟島より少し早く漁獲がピークを迎えます。	

「出荷・供給時期」を印、「盛期」を印で示した

出典：新潟県農林水産部

〔農産物の生産拡大〕

本市では農産物の生産拡大のため、「綾子舞」、「じょんのびの里」、「炭秀米」といった柏崎ブランド米に加え、「越路早生」のブランド化を進めています。柏崎野菜については生産拡大と産地化を図るため、農地の有効利用や基幹直売所利用組合への加入、生産者の法人化を進めています。また、地域の食材を活用した郷土料理などについて、イベントを通じたPRを行い、柏崎野菜の啓発・普及を図っています。越後姫については、生産量と品質を確保し、首都圏への情報発信と販路開拓を進めています。

表 2-23 柏崎産の米

区分	名称	特徴
コシヒカリ	特選 綾子舞コシヒカリ (柏崎市)	柏崎市の中山間地域産米「綾子舞」は黒姫山の大自然で清水を飲んだコシヒカリです。受け継がれる風味、その伝統的な美味しさは、まさしく名の通り、優雅な舞のようです。「綾子舞」は、伝承500年、柏崎市内の黒姫神社に奉納される国指定重要無形民俗文化財の綾子舞に由来しています。
	じょんのびの里 (柏崎市/高柳町)	日本の棚田百選に認定され、豊かで美しい自然の中で生まれた「じょんのびの里」はふるさとを愛する農家が大切に育て上げた棚田のコシヒカリです。「じょんのび」とは“ゆったり、のんびりとした、真から気持ち良い”という意味です。なお、高柳町の棚田は日本の「棚田百選」に3箇所認定されています。
	炭秀米 (柏崎市/西山町)	美しい日本海の夕日を見下ろす西山連峰から流れ出した別山川の清流で育つ「炭秀米」は、循環型米作り“炭化籾殻”を使用し、常温通風乾燥方式によって、時間をかけて仕上げられたコシヒカリです。
こしいぶき	こしいぶき (柏崎市)	コシヒカリの孫にあたり色、味、つや、香り、粘りなどの良食味米の特徴を受け継いでいます。JA柏崎では、こしいぶきが育成された時から、県内で一番早く生産に取り組み「こしいぶきの郷」として商標登録し良食味米の生産と販売拡大に取り組んでいます。
越路早生	越路早生 (柏崎市)	JA柏崎では、新潟米を一番早く消費者にお届けする為に、田植え時期をはやめた早期栽培をおこない生産者と契約した圃場で栽培し、8月下旬頃には店頭に並び新米の味をお楽しみいただけます。
もち米	こがねもち (柏崎市)	粘り、味ともに優れ高級もち米として生産、販売されており、切もちやお祝い事の赤飯には欠かせないもち米です。
	きねつきもち (柏崎市/高柳町)	黒姫山の雪解け水が湧き出る泉で育った、高柳産こがねもち米です。はさがけ(自然乾燥)でじっくり乾燥させたものを丹念につきあげた自慢の餅「きねつき餅」です。

出典：JA 柏崎ホームページから抜粋



特選 綾子舞コシヒカリ



じょんのびの里



炭秀米



こしいぶき



越路早生



こがねもち

図 2-18 柏崎産の米

表 2-24 柏崎産の野菜(柏崎野菜)

区分	名称	収穫時期	特徴
伝統野菜	刈羽節成きゅうり	6~7月	大正~戦前にかけて、橋場地区を中心に大掛かりに栽培されていました。その後、生産が行われなくなりましたが、保存されていた種を使って、復活を目指し栽培が再開されています。
	緑なす	7~10月	西之入地区で昔から栽培されており、現在栽培面積を増やす取り組みが行われています。色も鮮やかで、加工品にも向いています。
	新道いも	10月	唐イモのことで、親イモを食べます。もともと新道地区で栽培されていましたが、現在では新道・藤橋・野田の数人の農家だけで栽培が続けられています。
	仙人菊	10~11月	西之入地区で栽培されている食用菊です。原種は分かっていませんが、仙人のひげのように、白く細やかな花弁をたくさんつけるのが特徴です。
	与板菜	11月	与板地区の住民の間で、昔から少しずつ栽培されてきた野沢菜の一種です。与板蕪ともいわれています。
	黒姫人参	10~12月	高柳町磯之辺地区など、黒姫山の標高が高いところで栽培されています。昭和30年ごろまでよく食べられていた国分人参の系統で、ゴボウのように細長い根っこが特徴です。
地場特産品	ぜんまい	4~6月	昭和45年ごろから、高柳町などの山間部のあいている畑などを利用して栽培されています。
	そらまめ	5月	使われなくなった田んぼを利用した転作野菜として、降雪の少ない地域で栽培されています。
	宝交早生	5~6月	柔らかくみずみずしい果肉が特徴の露地用イチゴです。下大新田集落などを中心に、昔から栽培されています。
	夕顔	7~8月	新潟県独特の野菜で、源氏物語にも登場する古い野菜です。柏崎市では「ゆうごう」となまって呼ばれます。
	糸うり	7~9月	新潟県独特の野菜で、保存が効くため昔から重宝されていました。地域により、「なますかぼちゃ」「そうめんかぼちゃ」などとも呼ばれます。
	磯之辺トマト	7~9月	高原野菜として、黒姫人参とともに高柳町磯之辺地区で栽培されています。
	つららなす	7~10月	色鮮やかな緑色が特徴の「万寿満」という品種の長ナスです。北条地区で栽培されています。
	えだまめ	7~10月	7月に出荷される極早生品種から8月の新潟茶豆、10月の晩生品種まで、さまざまな種類が栽培されています。
	ズイキ	8~9月	新潟県の特産の一つである八つ頭(サトイモ)の茎の部分をいいます。酢をかけると赤くなり、お盆のおもてなし料理として使用されます。
	マコモタケ	9~11月	イネ科のマコモという植物の太くなった根元部分の茎のことをいいます。タケノコに似たシャキシャキした食感です。矢田集落を中心に、栽培を拡大しています。
	カリフラワー	9~11月	転作が行われた田んぼを中心に栽培が広がり、西山町・北条・田尻地区など市内全域で栽培されています。
	土垂	10~11月	南鯖石地区で栽培されているサトイモの原形種です。粘りが強くて味が濃いのが特徴で、学校給食にも利用されています。
	新道柿	10~11月	主に山の頂上付近という厳しい環境で栽培されているため、味が濃く風味が豊かです。新道と西山町に大きな栽培団地があります。
	オータムポエム	11~3月	とう菜の一種で、茎・葉・花の部分を食べます。食感や味はアスパラに似ているといわれます。
越後姫	1~6月	新潟県が平成8年に品種登録を行い、近年市内でも栽培が広がっているイチゴです。大粒で甘みが強いのが特徴です。	

出典：広報 かしわざき

柏崎野菜：柏崎で古くから栽培されていて希少な味覚を持った伝統野菜と、柏崎の全地域を挙げて栽培に力を入れている野菜・果樹などの地場特産品の総称。



刈羽節成きゅうり



新道いも



仙人菊



マコモタケ



カリフラワー



土垂



新道柿



オータムポエム



越後姫

図 2-19 柏崎産の野菜(柏崎野菜)

〔集落営農〕

本市の集落営農組織は38組合あり、そのうちの21組合が農業生産法人であり、残りの17組合は非法人となっています。非法人組合のうち、今後は3組合が農業生産法人となる計画を策定しています。

経営耕地面積別にみると、5ha未満の割合が最も高く16組合(42.1%)であり、農作業受託面積でも22組合(57.9%)が5ha未満となっています。なお、経営耕地面積と農作業受託面積を加算した場合は、10～20haの割合が42.1%と最も高くなっています。

農産物等の生産・販売活動では、水稻・陸稻を生産・販売するが最も多く、農産物等の生産・販売以外の活動では、機械の共同所有・共同利用を行う、防除・収穫等の農作業受託を行う、作付地の団地化など、集落内の土地利用調整を行うことが多くなっています。なお、集落内の営農を一括して管理・運営している組合は、9組合となっています。

表2-25 組織形態別集落営農数

(単位：集落営農)

市町村	計	法人					非法人
		小計	農事組合 法人	会社			
				株式会社	合名・合資 ・合同会社	その他	
柏崎市	38	21	21	-	-	-	17

表2-26 農業経営を営む法人となる計画の策定状況別集落営農数

(単位：集落営農)

市町村	計	農業生 産法人 である	農業生産法人ではない								法人と なる計 画を策 定して いない
			小計	法人と なる計 画を策 定して いる	法人予定年						
					H22	H23	H24	H25	H26	H27 以降	
柏崎市	38	21	17	3	2	1	-	-	-	-	14

表2-27 経営耕地面積規模別集落営農数

(単位：集落営農)

市町村	計	5ha未満	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100ha以上
柏崎市	38	16	3	12	6	1	-	-

表2-28 農作業受託面積規模別集落営農数

(単位：集落営農)

市町村	計	5ha未満	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100ha以上
柏崎市	38	22	8	7	1	-	-	-

表2-29 経営耕地面積＋農作業受託面積規模別集落営農数

(単位：集落営農)

市町村	計	5ha未満	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100ha以上
柏崎市	38	2	10	16	8	2	-	-

表 2-30 活動内容別集落営農数(複数回答)

(単位：集落営農)

市町村	計 (実数)	農産物等の生産・販売活動				
		小計 (実数)	水稲・陸稲を生 産・販売	麦、大豆、てん 菜、原料用ばれ いしょのうち、 いずれかを生 産・販売	その他の作物 (畜産物を含 む)を生産・販 売	農産加工品の 生産・販売
		38	36	11	10	-
柏崎市	38	農産物等の生産・販売以外の活動				集落内の営農 を一括して管 理・運営してい る
		機械の共同所 有・共同利用を 行う	防除・収穫等の 農作業受託を 行う	農家の出役に より、共同で農 作業(農業機械 を利用した農 作業以外)を行 う	作付地の団地 化など、集落内 の土地利用調 整を行う	
		38	21	2	36	9

集落営農に関する出典：平成 18 年 生産農業所得統計

2) 農業農村整備の概況

完了済みの農業農村整備事業を表 2-31 から表 2-34 に、現在整備中もしくは今後整備予定の農業農村整備事業を表 2-35 から表 2-36 に示しました。

本市では、後谷ダム、栃ヶ原ダムの供用が開始され、市野新田ダムについては建設工事に着手し、早期完成を目指しています。また、これらのダムの進捗に併せて、農業用水を安定供給するための農業用水施設の新設・改修を早期に進めることが必要です。

本市は、ほ場整備率が 44.3%(平成 22 年度末)と遅れており、県平均の 56.1%(平成 19 年度末)を大きく下回っています。

表 2-31 完了済みの農業農村整備事業(ほ場整備)

事業の種類	地区名	実施期間	備考
県営ほ場整備事業	北条	S52 ~ S61	
	刈羽南部	S61 ~ H8	
	刈羽中部	S62 ~ H12	
	刈羽東部	H3 ~ H12	
	鎌田	H8 ~ H13	
	浜忠	H8 ~ H14	
	北野	H9 ~ H16	
県営土地改良総合整備事業	中通	S55 ~ H4	
	中通 期	S56 ~ H8	
	中田	S57 ~ H2	

表 2-32 完了済みの農業農村整備事業(農道整備)

事業の種類	地区名	実施期間	備考
農免農道整備事業	東上条	S40 ~ S44	
	柏崎	S46 ~ S49	
	刈羽	S46 ~ S50	
	南慶寺	S46 ~ S50	
	東城	S52 ~ S61	
	東柏崎	S53 ~ S58	
	田尻	S55 ~ S59	
	田尻 2 期	S56 ~ S61	
	西中通	S59 ~ S63	
	岡田	S60 ~ H4	
	安田	S62 ~ H4	
	新道	S63 ~ H4	
	新道 期	H4 ~ H7	
	高田	H5 ~ H10	
石曾根	H6 ~ H15		
県単ふるさと農道緊急整備事業	高田	H5 ~ H7	
	南下	H10 ~ H14	

表 2-33 完了済みの農業農村整備事業(ため池等整備、防災ダム)

事業の種類	地区名	実施期間	備考
ため池等整備事業	赤田北方	S45 ~ S46	
	南条	S46 ~ S47	
	藤井堰	S50 ~ S52	
	仁王谷	S50 ~ S55	
	高田北部	S52 ~ S52	
	矢田	S52 ~ S56	
	藤井	S53 ~ S55	
	刈羽	S53 ~ S57	
	田塚	S54 ~ S56	
	平井	S54 ~ S56	
	田島	S55 ~ S56	
	東江	S55 ~ S58	
	横山	S55 ~ S58	
	小坂	S55 ~ S62	
	西中通西	S55 ~ H1	
	宮平	S56 ~ S59	
	西江	S56 ~ H4	
	古町	S57 ~ S63	
	田尻	S58 ~ H1	
	高田	S58 ~ H3	
	北野	S59 ~ S63	
	大塚	S60 ~ H1	
	滝谷	S60 ~ H4	
	六ヶ村江	H2 ~ H6	
	宮之窪	H3 ~ H6	
	小島	H7 ~ H9	
	大川堰	H9 ~ H11	
	十日市堰	H11 ~ H13	
	井岡堰	H11 ~ H14	
長池	H12 ~ H15		
松ヶ崎	H12 ~ H15		
安田	H13 ~ H15		
正明寺堰	H14 ~ H15		
防災ダム事業	曾池	S63 ~ H8	
	吉井	H1 ~ H9	
	古土	H2 ~ H10	
	十二崎池	H2 ~ H13	

表 2-34 完了済みの農業農村整備事業(かんがい排水)

事業の種類	地区名	実施期間	備考
国営かんがい排水事業	柏崎周辺(1期地区)	H9～H21	栃ヶ原ダム
かんがい排水事業	刈羽平野	S28～S43	
	柏崎	S44～S51	
	鯖石川	S51～S57	
	刈羽	S62～H13	
排水対策特別事業	安田	S57～H4	
	稲荷	S58～H5	
	与三	S59～H6	
	榎川原	S60～H1	
	新道	S61～H3	
	赤田町方	H3～H6	
	新屋敷	H4～H6	
湛水防除事業	軽井川	H7～H11	
	春日	S54～S56	
	別山川上流	S56～H3	
	枇杷島	S58～H4	
	鯖石川上流	S55～H10	

表 2-35 現在整備中もしくは今後整備予定の農業農村整備事業(国営・県営事業)

事業の種類	地区名	概要	実施期間
国営かんがい排水事業	柏崎周辺(2期地区)	後谷ダム 市野新田ダム 頭首工(取水口)改修 2箇所 導水路・用水路新設 8.1km	H10～H28
経営体育成基盤整備事業 (面的集積)	善根	区画整理 34.7ha 暗渠排水 25.7ha パイプかんがい 1式	H22～H27
	高田北部	区画整理 32.6ha 暗渠排水 32.6ha	H23～H28
経営体育成基盤整備事業	南条	区画整理 80ha 暗渠排水 80ha パイプかんがい 1式	H15～H23
	下田尻	区画整理 28ha 暗渠排水 28ha	H25～H30
	山室	区画整理 29ha 暗渠排水 29ha	H26～H31
	高田中部	区画整理 37ha 暗渠排水 37ha	H26～H31
	高田南部	区画整理 86ha 暗渠排水 86ha	H27～H32
中山間地域総合整備事業	別俣	区画整理 10.4ha 排水路 2,555m	H21～H26
	西山内郷	区画整理 31.5ha 用排水路 4箇所 ため池 1箇所	H22～H27
かんがい排水事業	柏崎1期	用水路 30,409m 水管理施設 1式	H18～H28
	柏崎2期	用水路 5,557m	H22～H28
	柏崎3期	用水路 1,604m 水管理施設 1式	H26～H31
ため池等整備事業	長嶺大池	堤体工 1式	H26～H28
	森の池	堤体工 1式	H27～H31
	矢田	水路トンネル 700m	H27～H32
	吉井1期	水路トンネル 652m	H22～H26
	吉井2期	水路トンネル 293m	H26～H29
一般農道整備事業(広域関連)	矢田 期	道路工 1,070m	H20～H28
広域営農団地農道整備事業	柏崎 期	道路工 3,453m	H15～H28
湛水防除事業	春日第2地区	排水路 5,200m 排水機場 1基	H6～H26
ため池等整備事業 (河川工作物応急対策)	坂田(松本堰)	頭首工改修 1箇所	H18～H24
	三又(三又堰)	頭首工改修 1箇所	H21～H24

表 2-36 現在整備中もしくは今後整備予定の農業農村整備事業(団体営事業)

事業の種類	地区名	概要	実施期間
かんがい排水事業	北条	用水路 1,200m	H24 ~ H25
	荒井用水路	用水路 1,100m	H23 ~ H25
	東江1号	用水路 1,030m	H25 ~ H27
	東江2号	用水路 2,078m	H27 ~ H36
	善根堰左岸	分水改修工 23箇所	H26 ~ H32
	西側用水路 期	用水路 824m	H20 ~ H23
	下山田	用水路 600m	H24 ~ H26
	伊毛	用水路 660m	H24 ~ H26
	新保・五日市	用水路 3,270m	H26 ~ H32
村づくり交付金事業	中通	集落道2路線 789m	H17 ~ H23
		集排(処理なし)2路線 737m	
		自然環境生態系保全施設 1箇所	
		集落防災安全施設 7箇所	
		市町村創造型 7箇所	
	高田	農業用排水施設1路線 500m	H19 ~ H24
集落道2路線 764m			
集排(処理なし)2路線 541m			
自然環境生態系保全施設 1箇所			
集落防災安全施設1路線 700m			
地域資源利活用施設 6箇所			
西中通	農業用排水施設4路線 9,711m	H24 ~ H29	
	集落道4路線 949m		
	集排(処理なし)3路線 1,199m		
	集落防災安全施設1路線 103m		
	地域資源利活用施設 7箇所		

(5) 動植物

1) 本市の植物の概況

本市の植生としては、図 2-20 から図 2-21 に示すように、山麓部ではスギの植林地、ブナの自然林、ブナ域下部において成立したコナラが優占する二次林、水田が広い分布となっており、海岸沿いでは、ヤブツバキ域に成立したコナラが優占する二次林が分布し、海岸沿いに植栽されたクロマツ植林は、海からの強風やその風にとばされてくる飛砂や飛潮から生活環境を守る役割を果たしています。また、平野部では鯖石川、鷓川、別山川の3河川の下流域に形成された広大な水田や畑地が、住宅地、工業地帯を取りまくように分布しています。

本市では、貴重なブナの自然林は大沢や米山、黒姫山などに若干が残されているに過ぎませんが、「大沢のブナ林」については、平野部周辺の低標高地に残された貴重なものであることから、新潟県の自然環境保全条例によって緑地環境保全地域に指定されています。また、赤坂山公園には、市街地に隣接しながら昔ながらのアカマツを中心とした自然が残されています。

このように、本市の森林の大部分を二次林が占めており、薪炭林や山菜とりの場としてかつては頻りに利用されていましたが、産業構造や生活様式の変化のなかでその多くは放置され、二次林のもつ豊かさが失われつつあります。それでも、柏崎市環境基本計画の市民アンケート調査結果によると、4割以上の方が山菜や木の実を採ることを目的として日ごろから山地・丘陵地や雑木林にふれあいを持っていると回答しており、「山地・丘陵地の緑」はこれからも大切にしていきたいと思っており、水辺やみどりのなかでも「日本海の海辺」「公園や広場の緑・池・噴水」について3番目に要望の強いものとなっています。

また、国指定文化財としては宮川神社社叢、新道鷓川神社の大ケヤキが、県指定文化財としては中村の大スギ、貞観園のモミとケヤキ、御島石部神社のスダジイ樹叢が指定されています。

表 2-37 貴重な植物群落(特定植物群落)の状況

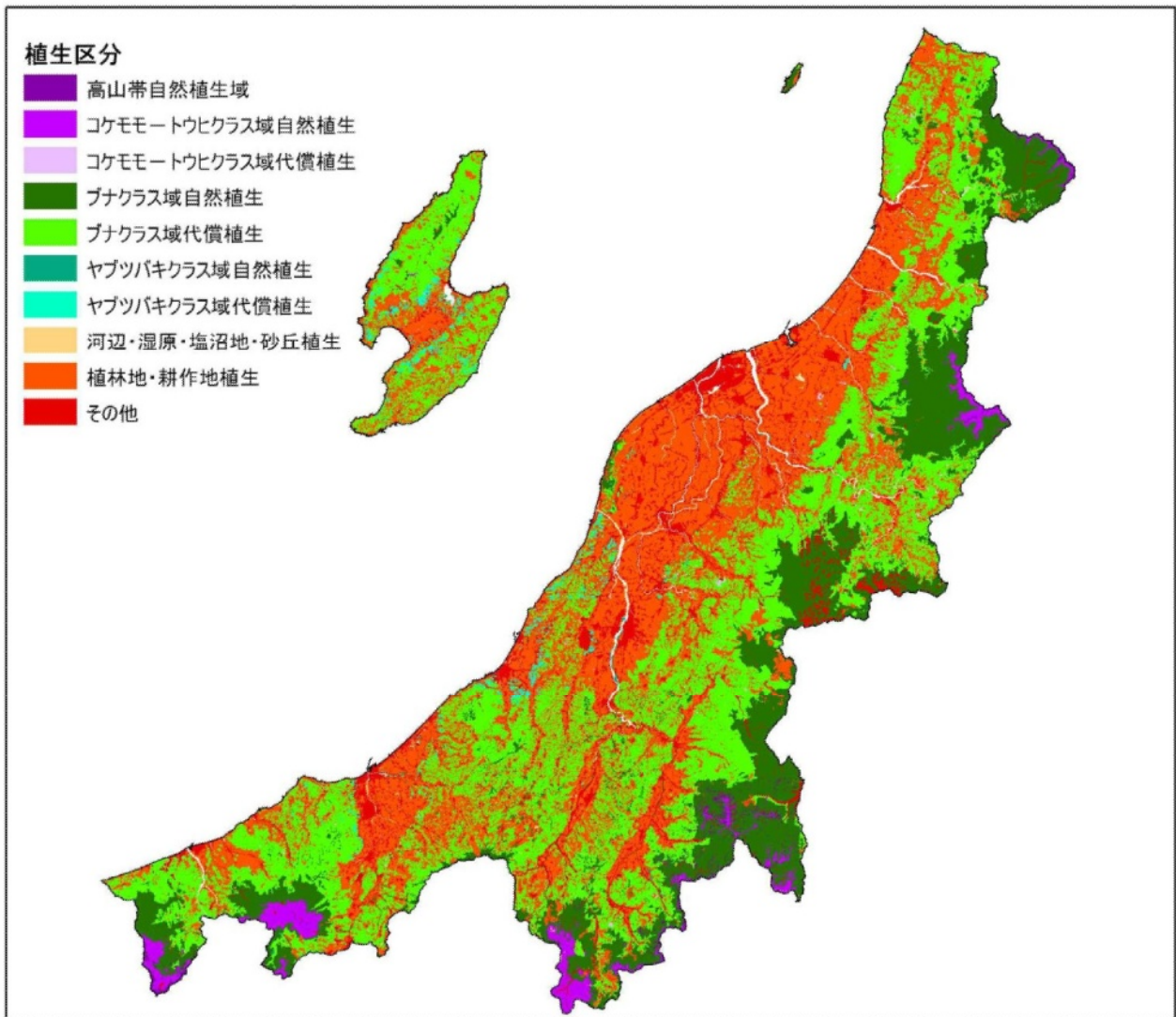
地域	件名	選定基準	相観区分
西山	御島石部神社のスダジイ林	A, G, H	暖温帯常緑広葉高木林
柏崎	宮川神社のカシワ林 宮川神社のシロダモ林	A, G, H	暖温帯常緑広葉高木林
	黒滝のアカシデ林	A, G, H	暖温帯常緑広葉高木林
	笠島のタブ林	A, G, H	暖温帯常緑広葉高木林
	胞姫神社のシロダモ林	A, G, H	暖温帯常緑広葉高木林

出典：自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書

選定基準 A:原生林若しくはそれに近い自然林

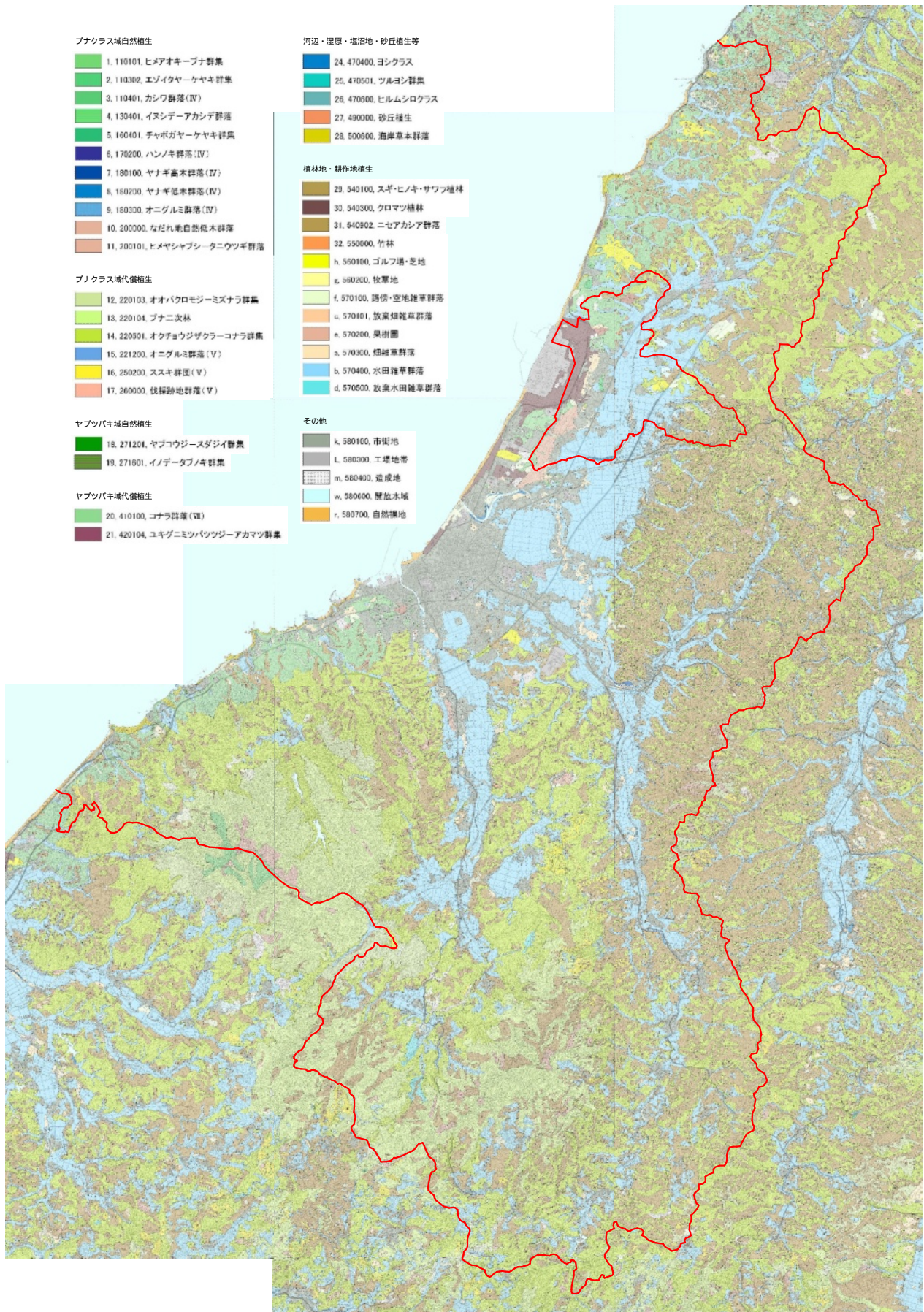
G:乱護その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H:その他学術上重要な植物群落又は個体群



出典：自然環境保全基礎調査

図 2-20 植生図(新潟県)



出典：自然環境保全基礎調査

図 2-21 植生図(柏崎市)

2) 本市の動物の概況

本市に生息しているほ乳類としては、ホンドギツネ、ホンドタヌキ、ニッコウムササビ、ホンドテン、ホンDOIタチ、ホンDRIS、ハクビシン、ニホンアナグマ、トウホクノウサギ、アカネズミ、ヒメネズミ、ハタネズミ、コウモリ類などであり、米山一帯にはカモシカの生息も確認されています。なかでも、柏崎市青海川の福浦猩々洞には、繁殖期にはユビナガコウモリ、モモジロコウモリ、コキクガシラコウモリの3種類20,000頭以上のコウモリが生息し、全国でも珍しい洞穴であることから、新潟県の天然記念物に指定されています。近年では、本市においてもツキノワグマやイノシシの目撃件数が急増しており、人身被害を防ぐための十分な注意を呼びかけています。これは、山にエサが少ないことや農地の荒廃などで、エサを求めて広く動き回り、人里へ出没しているものと思われます。

鳥類に関して見てみますと、「悪田の自然緑地」では、公園のほとんどが湿地帯でアシ原や樹木に覆われており、そこで野鳥の姿が見られ、観察小屋もあり、環境省の野鳥観測2級ステーションに指定されています。また、西山町長嶺や五日市の大池には、冬の到来を告げる白鳥が毎年飛来し、多くの写真家が訪れています。海岸地帯にはハヤブサの営巣が、丘陵地帯ではイヌワシ、ミサゴ、オジロワシなどの猛禽類が確認されています。八石山麓は、鳥獣保護区に指定されており、鳥類観察が毎年行われています。

両生類としては、トウホクサンショウウオ、クロサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アカハライモリ、モリアオガエル、カジカガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、トノサマガエル、ニホンアマガエル、ヤマアカガエル、ニホンカガエル、トウキョウダルマガエル、アズマヒキガエル、ウシガエル、が生息しています。爬虫類としては、イシガメ、クサガメ、ニホンヤモリ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ニホンマムシ、ヤマカガシ、シマヘビ、ジムグリなどが生息しています。また、稀に夜行性のシロマダラも発見されています。

3) 既存文献による生物種

柏崎市で見られる生物種としては、表 2-38 から表 2-42 及び図 2-22 に示すような柏崎市環境基本計画 第 2 次計画で紹介されている動植物があります。

表 2-38 柏崎市で見られる動物種その 1

分類	種名	
哺乳類	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ
	ウシ科	カモシカ
淡水魚類	コイ科	シナイモツゴ(RD:EN/VU) ギンプナ ゲンゴロウブナ テツギョ ニゴイ ヤリタナゴ
	ドジョウ科	ホトケドジョウ(RD:EN/VU) シマドジョウ
	トゲウオ科	イトヨ(RD:-/VU)
	ヤツメウナギ科	カワヤツメ(RD:-/NT) スナヤツメ(RD:VU/NT)
	アユ科	アユ
	サケ科	イワナ
	アカザ科	アカザ(RD:VU/NT)
	ナマズ科	ナマズ
	メダカ科	メダカ(RD:VU/NT)
	ハゼ科	ウキゴリ シマウキゴリ ヌマチチブ
	カジカ科	アユカケ(カマキリ) (RD:-/NT) カジカ
	ヌマエビ科	ヌマエビ
	サワガニ科	サワガニ
	陸・淡水産貝類	マルスダレガイ科
フジノハナガイ科		キュウシュウナミノコ ナミノコガイ
イシガイ科		タガイ マツサカガイ
バカガイ科		バカガイ
フナガタガイ科		ウネナシトヤマガイ
シジミ科		マシジミ(RD:-/NT)
マメシジミ科		ニホンマメシジミ(RD:-/NT)
マテガイ科		マテガイ
マルスダレガイ科		ニホンハマグリ

表 2-39 柏崎市で見られる動物種その2

分類	種名
ヤンマ科	アオヤンマ (RD: -/NT) ネアカヨシヤンマ (RD: -/NT) アオヤンマ
サナエトンボ科	ホンサナエ (RD: -/VU) クロサナエ ヒメクロサナエ モイワサナエ
イトトンボ科	エゾイトトンボ オオセスジイトトンボ オゼイトトンボ モートンイトトンボ
エゾトンボ科	オオトラフトンボ カラカネトンボ ハネビロエゾトンボ
アオイトトンボ科	オツネトンボ ホソミオツネトンボ
トンボ科	コノシメトンボ チョウトンボ ネキトンボ ハッチョウトンボ ハラビロトンボ
ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ
キリギリス科	カヤキリ (RD: -/NT)
タテハチョウ科	オオムラサキ (RD: NT/NT) スミナガシ クジャクチョウ
アゲハチョウ科	ギフチョウ (RD: VU/NT) アオスジアゲハ モンキアゲハ
シジミチョウ科	クロシジミ (RD: CR+EN/EN) ゴイシジミ ジョウザンミドリシジミ ミドリシジミ
ジャノメチョウ科	オオヒカゲ
セセリチョウ科	コキマダラセセリ ミヤマセセリ
カマキリ科	ハラビロカマキリ ヒナカマキリ
セミ科	ハルゼミ (RD: -/NT) エゾハルゼミ コエゾゼミ チッチゼミ
タイコウチ科	タイコウチ (RD: -/EN)
コイムシ科	オオコイムシ

昆虫類

表 2-40 柏崎市で見られる動物種その 3

	分類	種名
昆虫類	クワガタムシ科	オオクワガタ (RD:NT/NT)
	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ (RD:NT/NT)
	カミキリムシ科	ヨコヤマヒゲナガカミキリ (RD:-/NT)
	ホタル科	ゲンジボタル
	ゲンゴロウ科	メススジゲンゴロウ
	タマムシ科	ヤマトタマムシ
	クロカワゲラ科	セッケイカワゲラ
	トワダカワゲラ科	トワダカワゲラ
	トビケラ科	ムラサキトビケラ

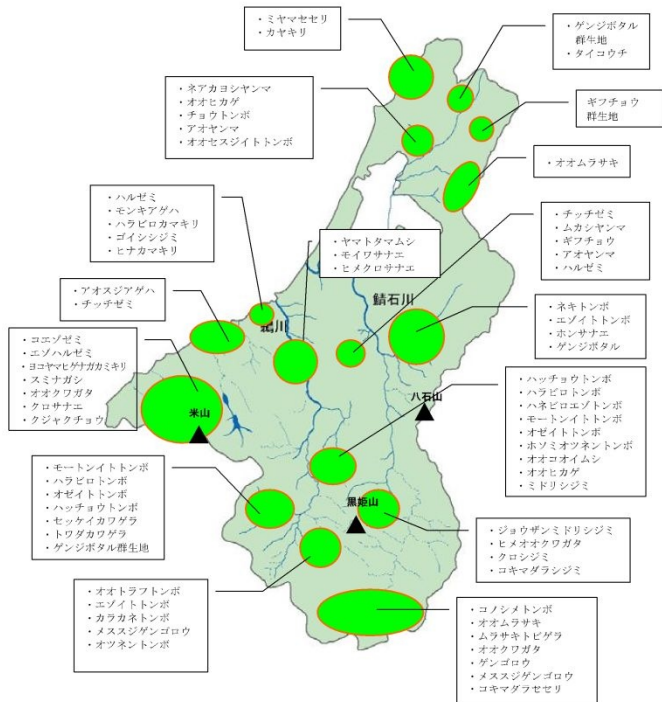
表 2-41 柏崎市で見られる植物種その 1

	分類	種名
維管束植物	ブナ科	スダジイ (RD:-/LP) カシワ ブナ
	イワデシダ科	ウラボシノコギリシダ (RD:-/VU)
	バラ科	カワラサイコ (RD:-/VU) ハマナス (RD:-/VU)
	キク科	イソニガナ (RD:VU/VU) カワラヨモギ ハマニガナ
	ヒルガオ科	ハマヒルガオ
	アブラナ科	ハマハタザオ
	セリ科	ハマボウフウ
	イネ科	ケカモノハシ
	ニレ科	エノキ
	キンポウゲ科	オオミスミソウ(雪割草) (RD:-/LP) リュウキンカ (RD:-/VU) イチリンソウ
	ユリ科	カタクリ群生
	ハゴリモモ科	ジュンサイ (RD:-/VU)
	スイレン科	ヒツジグサ (RD:-/VU)
	タヌキモ科	イヌタヌキモ (RD:-/VU)
	クスノキ科	シロダモ タブ
	カヤツリグサ科	コウボウムギ
	ゴマノハグサ科	ウンラン
	ムラサキ科	スナビキソウ (RD:-/NT)
	マメ科	ハマエンドウ

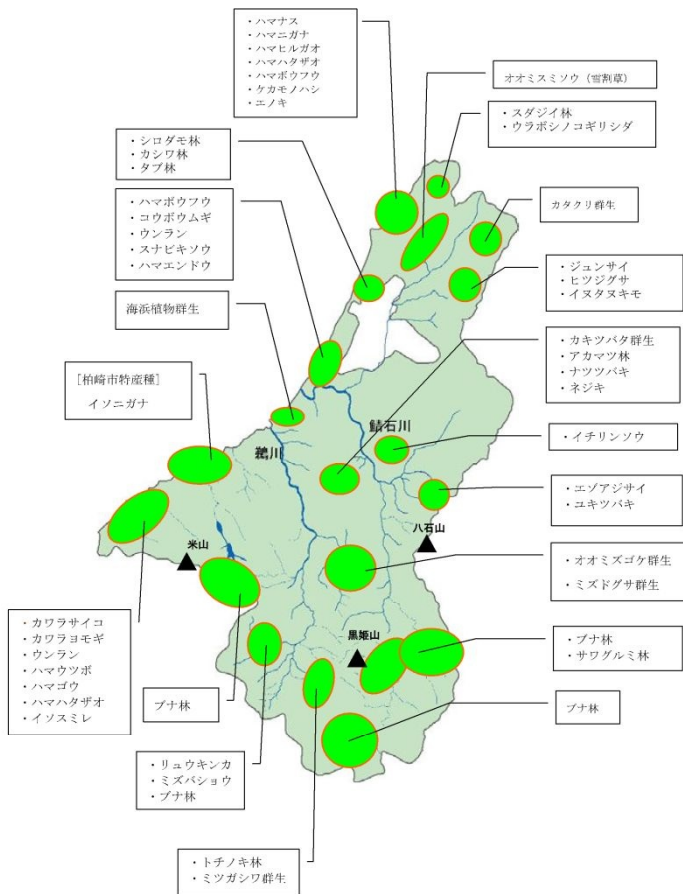
表 2-42 柏崎市で見られる植物種その2

	分類	種名
維管束植物	アヤメ科	カキツバタ群生(RD:VU/VU)
	マツ科	アカマツ
	ツバキ科	ナツツバキ(RD:-/LP) ユキツバキ
	ツツジ科	ネジキ
	アジサイ科	エゾアジサイ
	ハマウツボ科	ハマウツボ(RD:-/VU)
	クマツツジ科	ハマゴウ(RD:-/NT)
	スミレ科	イソスミレ(RD:-/VU)
	ミズゴケ科	ミズゴケ群生
	トクサ科	ミズドグサ群生(RD:-/VU)
	サトイモ科	ミズバショウ
	クルミ科	サワグルミ
	トチノキ科	トチノキ
	ミツガシワ科	ミツガシワ(RD:-/VU)

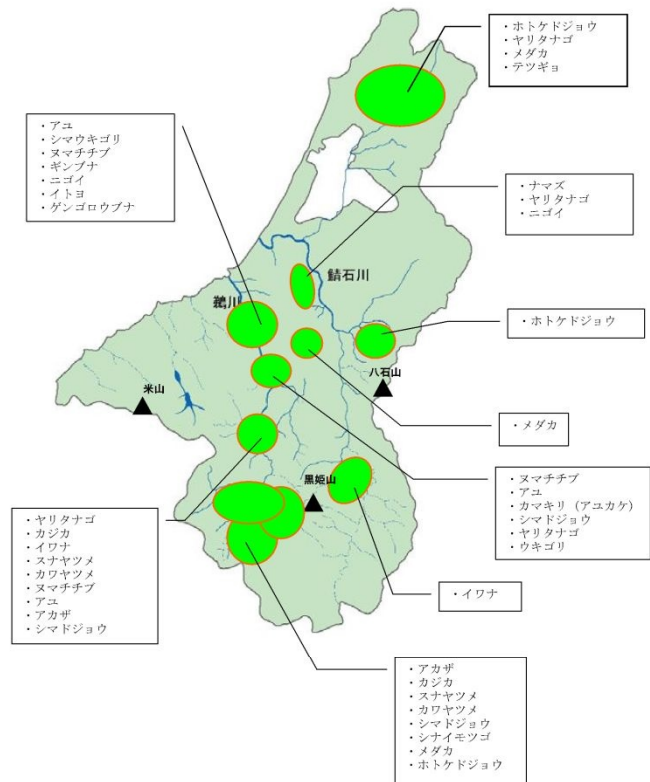
(1) 昆虫



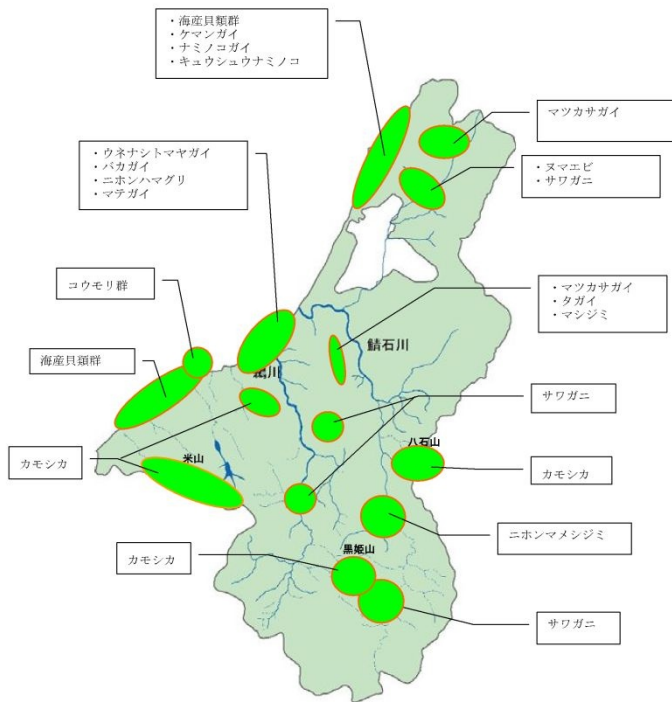
(2) 植物



(3) 魚類



(4) その他の生き物



出典: 柏崎市環境基本計画

図 2-22 柏崎市の貴重な動植物分布図

4) 田んぼの生き物調査

「田んぼの生き物調査」は、農林水産省と環境省が連携して、農村部において主要な生物の生息・生育環境となる田んぼやその周辺水域で実施している生き物調査のことです。ここでは、対象環境・調査手法がこれに準じて実施された調査全般を「田んぼの生き物調査」としました。

これまでに実施された「田んぼの生き物調査」の結果を、既往調査として表 2-43 から表 2-52 に示しました。

表 2-43 田んぼの生き物調査実施状況

地区名	調査区分	実施時期	調査環境							
			水田	用水路	排水路	農道	畦畔	河川	ため池	ダム
下田尻地区	既往調査	H23.7(上旬)								
別俣地区	既往調査	H22.6(下旬)								
高田北部地区	既往調査	H20.8(上旬)								
善根地区	既往調査	H20.8(上旬)								
西山内郷地区	既往調査	H21.7(上旬)								
女谷地区	既往調査	H20,21,22,23								
平井地区	既往調査	H20,21,22								
後谷地区	既往調査	H20,21,22								

表 2-44 田んぼの生き物調査実施状況(ため池・水田)

境 環	下田尻地区	別俣地区	高田北部地区	善根地区	西山内郷地区
水田	< 植物類 > イチョウウキゴケ(貴重) コナギ アゼナ アメリカアゼナ クサネム イヌビエ アメリカセンダングサ チョウジタデ ホタルイ	調査未実施	< 水生昆虫類 > コツブゲンゴロウ (ゲンゴロウの幼虫) < カエル類 > アマガエル	< 水生昆虫類 > コガムシ < その他の生物類 > アメンボ ガガンボの幼虫	< 魚類 > シマドジョウ ドジョウ ミズムシ

表 2-45 田んぼの生き物調査実施状況(用排水路)

境 環	下田尻地区	別俣地区	高田北部地区	善根地区	西山内郷地区
用排水路	< 植物類 > コウホネ ガマ サンカクイ アメリカセンダングサ マコモ ヨシ チゴグサ セリ イボグサ エビモ	< 魚類 > ドジョウ シマドジョウ ホトケドジョウ ギンブナ ハヤ メダカ ウグイ オイカワ アブラハヤ < 水生昆虫類 > ガガンボ(幼虫) ヤゴ(オニヤンマ) ヤゴ(トンボ) コオイムシ カワニナ ヒモメノアラカイ オタマジャクシ ミズカマキリ ヒル ヒメゲンゴロウ ヨコエビ マツモムシ < カエル類 > アカガエル アマガエル ツチガエル トノサマガエル	< 魚類 > ドジョウ ヨシノボリ ヤリタナゴ モツゴ ウグイ アユ < カエル類 > アマガエル < その他の生物類 > カワニナ カワゲラ モズクガニ アメリカザリガニ シジミ ドブガイ	< 魚類 > ドジョウ シマドジョウ タモロコ < 水生昆虫類 > ヤゴ ハイイロゲンゴロウ < カエル類 > トノサマガエル ツチガエル アカガエル < その他の生物類 > カワニナ アメンボ ガムシの幼虫 バッタ オタマジャクシ ヒル	< 魚類 > ドジョウ シマドジョウ ヤリタナゴ トウヨシノボリ アブラハヤ ヨシノボリ スジエビ ウキゴリ < 水生昆虫類 > ヒメクロゲンゴロウ アメリカザリガニ ハグロトンボ ミヤマフキバツタ マツモムシ ヤゴ(コシボソヤンマ) ミズカマキリ ヤゴ(オニヤンマ) < その他の生物類 > カワニナ タニシ ドブガイ マシジミ オタマジャクシ (ウシガエル) オタマジャクシ (トノサマガエル) < 植物類 > アカソウ カラムシ

表 2-46 田んぼの生き物調査実施状況(農道・畦畔)

境 環	下田尻地区	別俣地区	高田北部地区	善根地区	西山内郷地区
農道・畦畔	< 植物類 > スギナ イヌスギナ オオイヌノフグリ タチイヌノフグリ エノキグサ スベリヒユ オオバコ コニシキソウ セイタカアワダチソウ ヨモギ ハルジオン ヒメジョオン オオアレチノギク ヒメムカシヨモギ オオオナモミ スズメノテッポウ ナギナタガヤ	調査未実施	< 魚類 > ドジョウ < 水生昆虫類 > < カエル類 > アマガエル < その他の生物類 > カワゲラ カワニナ タニシ	< カエル類 > アマガエル トノサマガエル < その他の生物類 > バッタ タニシ カワニナ (農道脇の水路)	調査未実施

表 2-47 田んぼの生き物調査実施状況(地区全体)

境 環	下田尻地区	別俣地区	高田北部地区	善根地区	西山内郷地区
地区全体	< 貝類 > マルタニシ(貴重) オオタニシ(貴重) サカマキガイ カワニナ マツカサガイ(貴重) ドブガイの仲間 マシジミの仲間 < 魚類 > ドジョウ シマドジョウ ウグイ アブラハヤ コイ ギンブナ ウキゴリの仲間 < 昆虫類 > ヤゴ(ノシメトンボ) ヤゴ(シオカラトンボ) マツモムシ ガムシの仲間 < 甲殻類 > アメリカザリガニ モクズガニ	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施

表 2-48 田んぼの生き物調査実施状況(地区全体)

境 環	下田尻地区	別俣地区	高田北部地区	善根地区	西山内郷地区
地区全体	< 昆虫類 > ミノムシ(ミノガの幼虫) ノシメトンボ シオカラトンボ キアゲハ	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施
	< 鳥類 > ツバメ ヒバリ				
	< 爬虫類 > シマヘビ				

表 2-49 田んぼの生き物調査実施状況(用排水路)

境 環	女谷地区	平井地区	後谷地区
用排水路	アブラハヤ ドジョウ シマドジョウ ホトケドジョウ アカザ ヨシノボリ スナヤツメ カジカ カルガモ	ウグイ タモロコ サワガニ ヨシノボリ タナゴ ドジョウ シマドジョウ カワムツ カエル モクズガニ ケラ	調査未実施

表 2-50 田んぼの生き物調査実施状況(河川)

境 環	女谷地区	平井地区	後谷地区
河川	アカザ アブラハヤ カジカ ウグイ イワナ ドジョウ シマドジョウ アユ ガガンボ ヒゲナガカワトビ ケラ オイカワ サワガニ トビケラ ヤツメウナギ カワニナ タニシ ヤゴ(カワトンボ) ヤゴ(サナエトンボ) ヤゴ(ヘビトンボ) ヤゴ(オニヤンマ) ヤゴ(コオニヤンマ) ヤゴ(ギンヤンマ) ヤゴ(イトトンボ類)	調査未実施	調査未実施

表 2-51 田んぼの生き物調査実施状況(ため池)

境 環	女谷地区	平井地区	後谷地区
ため池	トノサマガエル アマガエル ツチガエル アブラハヤ カジカ ガムシ ドジョウ シマドジョウ ホトケドジョウ コオイムシ マツモムシ タニシ マルタニシ カワニナ サワガニ イモリ ヒル ヘビトンボ ミズスマシ ヤゴ(オニヤンマ) ヤゴ(ギンヤンマ) ヤゴ(コオニヤンマ)	調査未実施	調査未実施

表 2-52 田んぼの生き物調査実施状況(ダム)

境 環	女谷地区	平井地区	後谷地区
ダム	調査未実施	調査未実施	ヨシノボリ オタマジャクシ モツゴ ザリガニ エビ スジエビ モツゴ稚魚

(6) 景観

本市では、市街地の背景となる米山・黒姫山・八石山などの緑豊かな自然景観、海岸部に展開する変化に富んだ海岸景観、棚田や環状集落など中山間地の人の暮らしと自然が調和した中山間景観、妻入り・風当てが連続する漁村集落の街並みなど、市内には豊かな自然・風土により特色ある景観が残されています。また、市街地を取り囲む水田を中心とした農地は、市民が身近に季節感を感じることができる景観を形成しており、農業生産活動と連携した保全に努めています。

そのなかで、山間地の傾斜地に階段状に広がる棚田は、日本の原風景といわれるように美しく懐かしい景観を提供してくれますが、本市では、高柳町の「花坂の棚田」、梨ノ木田の棚田、「大開の棚田」が農林水産省の日本の棚田百選に選ばれています。

表2-53から表2-57は、柏崎市教育委員会や柏崎観光協会で紹介されている自然景観、公園・庭園などを基に、市民に親しまれている景観として取りまとめたものです。

表 2-53 市民に親しまれている景観その1

	名称	地域	特徴
自然的 景観	夕日が丘公園	椎谷	椎谷岬にある公園で米山、佐渡、そして日本海に沈む夕日の眺めが絶好のポイントです。
	宮川神社社叢	宮川	丘上を占める宮川神社境内の南西をめぐる急斜面にあり、多種多様な樹木が昼間でも暗いほどに茂る社叢です。
	大湊海岸	宮川	市内数多くある海水浴場のなかでも、サーフィンで人気の場所です。
	柏崎港	大洲	柏崎港は物流基地としての顔のほかに、休日には人々が集まる憩いの場としての顔も持っています。
	番神岬(福浦八景)	大洲	美しい砂浜と岩ダナに古い歴史と民話を残す岬で、日蓮着岸の地といわれています。
	御野立海浜公園展望台	鯨波	柏崎マリーナに隣接した海浜公園の中にある展望台で、潮の香りを楽しんだり、岩に打ち寄せる波の音を間近に聞くことができます。
	御野立(福浦八景)	鯨波	福浦八景のひとつで風光明媚な景勝地。日本海の展望が良く、鯨波、東の輪海水浴場も近くに位置しています。
	鯨波鬼穴	鯨波	鬼伝説のある鯨波鬼穴は、日本の渚百選に選ばれた鯨波海水浴場にあります。
	だるま岩(福浦八景)	鯨波	福浦八景の中でも最も荒々しさを持つ奇石怪石に富む海岸で、唯一、岩の形がだるまに似ているように丸みを帯びた巨石です。
	川内水源地(ダム)	鯨波	柏崎市民の上水道を支える水源地(ダム)です。また、桜と紅葉を、その豊富な水と共に楽しめるスポットです。
	米山	米山	海岸近くにそびえる標高 993m の米山は、古くから霊峰として信仰を集めた山です。山頂には三河(愛知県)の鳳来寺薬師、日向(宮崎県)の法華嶽薬師と並んで日本三大薬師として知られる米山薬師堂があります。
	猩々洞(福浦八景)	米山	鯨波青海川海岸にある奥行き約 80m の大きな洞穴で、天然記念物のコウモリ類が、繁殖期には 3 種類 2 万頭以上生息しています。
	鷗が鼻(福浦八景)・恋人岬	米山	福浦八景の中でも最も風光明媚な景勝地で、日本海に沈む夕日の美しさは格別です。グアム・土肥の恋人岬と姉妹提携しています。
	お弁が滝	米山	柏崎の船頭藤吉と佐渡の小木の娘おべんとの悲恋の物語として伝えられている佐渡情話の悲しい恋の結末を迎えたところです。
	松が崎(福浦八景)	米山	海中に点在する烏帽子、エビス、みつぐりなど大小無数の奇石があり、岩礁群の美しさで有名です。
	笠島漁港	米山	周辺には北国街道鉢崎宿の面影を残す米山町や磯の香りがする獵師町笠島の街並みなど、美しい風景が広がっています。
牛が首層内褶曲(福浦八景)	米山	地質学的にも貴重な層内褶曲が見られ、自然の驚異を目の当たりにすることができます。	
聖が鼻(福浦八景)	米山	雄々しく日本海に直角にそそり立つ岬で、変化に富んだ海岸が一望できます。	

表 2-54 市民に親しまれている景観その2

	名称	地域	特徴
自然的 景観	金倉山	北条	山頂からの眺めは素晴らしく日本海や佐渡などが一望できます。また、近くには薬湯として知られる広田鉱泉があります。
	八石山	北条	八石山はいくつか続く500m程の連峰を総称して「八石山」といいます。その全貌はお釈迦様が伏せている姿ともいわれ、標高は低いものの不動滝や屏風滝の名瀑を抱いた名山です。
	十三が滝	北条	八石山の北側の断崖に落ちる十三が滝は、八石山登山道の赤尾滝コースの途中にあります。
	善根の不動滝	中鯖石	古来より不動明王の滝として、八石山にかかる多くの滝の中で最も信仰されている滝です。
	黒姫山	高柳	黒姫山はその標高が米山に続く約891mです。数々の伝説が残る山であり、山頂の鶴川神社には美都波能売神と黒姫大神が祀られています。
	梨ノ木田の棚田	高柳	1999年農林水産大臣により「日本棚田百選」に選ばれた棚田です。
	板畑の棚田	高柳	日本の棚田百選に認定された「花坂の棚田」の近くにある知る人ぞ知る隠れた棚田スポットです。
	花坂の棚田	高柳	1999年農林水産大臣により「日本棚田百選」に選ばれた棚田です。
	大開の棚田	高柳	1999年農林水産大臣により「日本棚田百選」に選ばれた棚田です。
	荻ノ島茅葺環状集落	高柳	茅葺中門造りの民家が環状に立ち並んでおり、全国でも珍しい茅葺の環状集落として人気があります。
	荻の家・島の家 (荻ノ島かやぶきの里)	高柳	荻ノ島には宿泊可能な「荻の家」と「島の家」、イベント利用ができる「陽の楽家」があり、団欒のための場所として過ごすことができます。
	おやけ・いえもち (門出かやぶきの里)	高柳	古い民家を改築した「おやけ」と新築した「いえもち」の2棟があり、どちらも今では見れなくなった茅葺き屋根です。

表 2-55 市民に親しまれている景観その3

名称	地域	特徴
御島石部神社 スタジイの樹叢	石地	日本海にのぞむ石地集落の御島石部神社の社叢で、社殿の後にある高地を占め、約 20 アールほどの範囲に、シイ(スタジイ)が密生し、原始林の姿を保っています。老木が多く、八本木と呼ぶ巨木を含めて、根まわり 7メートル以上の大木が 3 本、目通りのまわり 3メートル以上のものが 10 数本含まれています。新潟県内では稀な椎の純林で、日本海沿岸では樹叢しているものの北限であり、新潟県の指定文化財天然記念物に指定されています。
雪割草の里	石地	雪割草の里の早春は、約 30 万株の野生種の雪割草で埋め尽くされます。平成 18 年度には日本観光協会「花の観光地づくり大賞」に選定されました。
椎谷観音大櫓	椎谷	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。椎谷の海岸の丘に、千年余の歴史をもつ観音堂があり、その右手の宝蔵の白壁を背景に堂々と構えた「ケヤキ」があります。樹齢は千年ともいわれています。
西山雪割草園	別山	開園期間中は 15000 鉢の雪割草を展示・販売しています。
長嶺の大池	二田	西山町長嶺にある周囲 950m 程の農業用の人造ため池です。冬には多くの白鳥が飛来します。
五日市の大池	南部	同じ西山地区にある長嶺の大池と同様に、白鳥の飛来スポットとして知られています。毎年多くの白鳥が冬のすみかとして訪れます。
中村の大杉	北条	新潟県の指定文化財天然記念物に指定されています。中村集落の中ほどの高台にある白山神社境内に生育し、樹齢は約千年と推定されています。特徴のあるその形や長命杉といわれていることから多くの参拝者を集める大杉です。
影沢の大杉	北条	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。影沢集落の中ほど白山神社境内にあり、樹齢は約八百年と推定される老杉です。
久之木の大杉	中鯖石	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。久之木集落入り口の丘(元諏訪神社跡)に生育する熊野杉系の大杉です。地元ではその枝ぶりの良さから「千本杉」の愛称で親しまれています。
八石神社の大杉	中鯖石	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。善根の飛岡集落の中ほどの高台にある八石神社境内に大杉があります。地上から 3m 付近で 2 本に分かれています。樹勢は盛んです。
加納のねずの木	中鯖石	光賢寺は、柏崎刈羽地方文学の祖・寺沢石城私塾の旧跡などの由緒ある寺です。そのお寺の墓地の円形塚の上部に「ねず」が植えられており、市の天然記念物に指定されています。
弥彦神社の大杉	南鯖石	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。天和検地帳にも載っているといわれ、伝承では 5 本の杉を一体として植えたとされていますが、現在は 2 本が一体化した形で残っています。
田島神社の大杉	南鯖石	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。田島神社境内で社殿裏すれすれに見上げ、周囲を杉林と竹林に囲まれており、樹勢は極めて盛んです。

動植物の景観

表 2-56 市民に親しまれている景観その 4

	名称	地域	特徴
動植物の景観	大沢のブナ林	南鯖石	大沢には海拔 100m ほどのところにまとまったブナ林があります。多くが伐採や開発などで消滅する中、これだけの群生をなしているのは珍しく、居住地周辺の優れた自然として昭和 59 年に県緑地環境保全地域に指定されています。
	鵜川神社の大ケヤキ	高田	鵜川神社大櫓の樹齢は、約千年といわれ、根まわり約 14m、目通り約 11.5m、高さ約 20m、地上約 3m 付近で大きな 4 本の枝に分かれています。昭和天皇が新潟県をご巡幸されたおり、ご覧になりました。
	南下の大杉	高田	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。個人所有の大杉であり、樹齢は五百年くらいと推定されています。
	木沢神社の大杉群	野田	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。木沢神社の鳥居をくぐって左の一号杉から六号杉まで、計 6 本の大杉があり、いずれも高さ 25m を超えています。中には大きな洞穴のあるものもあり、伝説が生まれそうな風格があります。
	静雅園	鵜川	柏崎市の指定文化財名勝に指定されています。江戸末期の座観式庭園として、優れた景観が保存されています。
	黒姫神社の大杉	鵜川	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。黒姫神社境内にあり、国の重要無形民族文化財に指定された「綾子舞」の現地公開も以前はこの老杉の下で演じられていました。
	米山ガーデン	米山	国道 8 号から米山登山道大平口へ向かう 2km ほど上がったところにあり、周囲は山々や海が見える高台、約 3 万 3 千平方メートルの土地にハーブや宿根草を植え込んだナチュラルガーデンです。
	岡田諏訪社の杉	高柳	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。岡田集落の東端に諏訪神社があります。そして、高台の社殿を取り囲むように 4 本の大杉が立っています。
	貞観園のモミとケヤキ	高柳	貞観園は、三百年以上も前から代々の当主により受け継がれてきた日本の名園です。庭園内には築 228 年の歴史を持つ貞観堂があります。その中のモミとケヤキは、新潟県の指定文化財天然記念物に指定されています。
	漆島十社大神社の杉	高柳	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されています。漆島集落の中央高台にある十社大神社本殿の後方に大杉が立っています。
	荻ノ島松尾神社の二本杉	高柳	柏崎市の指定文化財天然記念物に指定されている。荻ノ島集落にある松尾神社の御神木とされている。
	石黒のブナ林	高柳	春の新緑から夏にかけてのみずみずしい緑、秋の茶色く色づいた葉。そして冬の、すっかり雪に覆れながらも雄々しくリンと天に向かう梢は見るものを清々しい気持ちにさせてくれます。石黒のブナ林のツバキが林弥栄理学博士により「ユキツバキ」と命名されています。

表 2-57 市民に親しまれている景観その5

	名称	地域	特徴
自然体験空間	柏崎・夢の森公園	田尻	コンセプトは「里山の世界」。自然との共存を目指しており、公園内では環境学習として様々な自然を体験することができます。
	鯖石川改修記念公園	西中通	鯖石川の改修により、旧河川と新河川の中洲にできた公園です。広々とした芝生広場や多目的広場、犬などを放して遊ばせる広場もあります。
	悪田自然緑地	中央地区	公園のほとんどが、湿地帯でアシ原や樹木に覆われています。そこで野鳥の姿が見られ、観察小屋もあり、環境省の野鳥観測2級ステーションに指定されています。
	潮風公園	中央地区	海岸道路沿いに位置し、緑、小川のせせらぎ、遊歩道といった自然を感じさせる公園です。また、隣接には多目的に使用できる潮風コート、芝生広場があり、イベント、スポーツ広場として、利用されています。
	みなとまち海浜公園	中央地区	柏崎の海岸線の真中に位置し、シーユース雷音や夕日のドームをはじめ、たくさんの施設があります。夏は、マリンスポーツなど海の柏崎を思う存分楽しめる海浜公園です。
	赤坂山公園	大洲	春は桜の名所、秋は紅葉が美しく、情緒あふれる憩いの公園です。敷地内には博物館や遊具があり、子どもを連れの方も多く訪れています。
	松雲山荘	大洲	赤坂山公園に隣接し、赤松、つつじ、もみじその他多数の樹木に覆われ、秋の紅葉シーズンの美しさに目を奪われます。
	柏崎さけのふるさと公園	米山	青海川地区の谷根川河口近くにあるこの公園は、サケの生態を観察・学習できる施設です。公園内の人工河川にはガラス張りの観察窓があり、遡上するサケを真横から観察することができます。
	西山自然体験交流施設 ゆうぎ	西山	豊かな自然と恵まれた景観を家族そろって楽しめるアウトドア体験施設です。そば打ち、ジャム作りや陶芸、木工細工のほか炭焼き体験など様々なメニューが用意されています。オートキャンプサイトはAC電源付であり、後谷ダム周辺を始め周囲は遊歩道が整備され、森林浴には最高の環境です。
	こども自然王国 (新潟県立児童館)	高柳	こども自然王国は、新潟県が設置した児童厚生施設です。豊かな自然環境に恵まれた一定の地域内に設置される施設で、児童が宿泊をしながら自然を活かした遊びを通じて協調性・創造性・忍耐力などを高めることを目的とした大型児童館です。